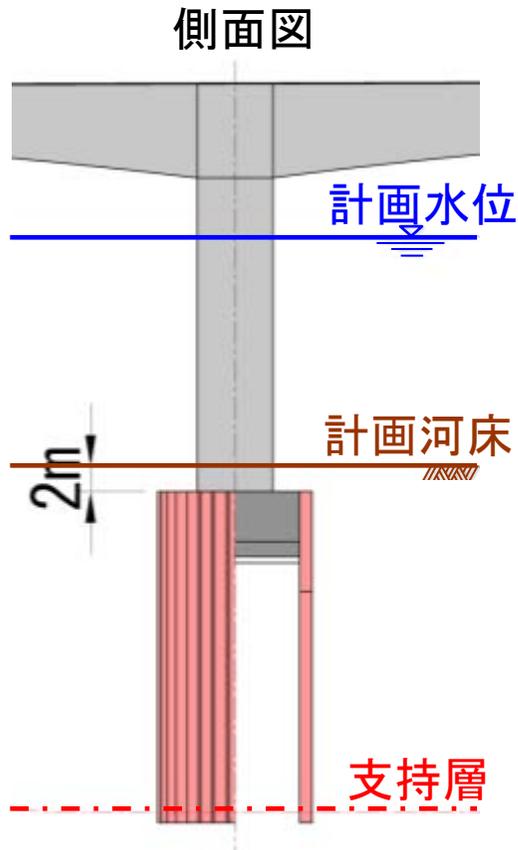


# ■3-2 吉野川渡河部の環境保全に配慮した構造及び施工

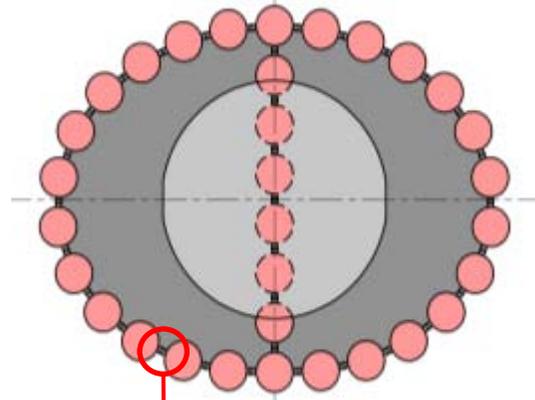


## ○基礎構造および橋脚施工時の検討

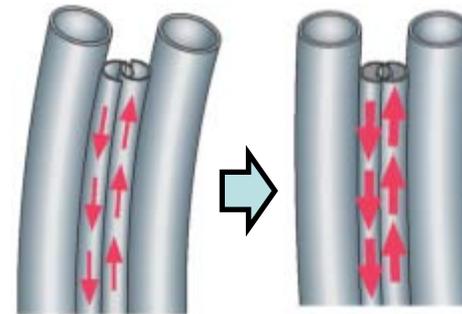
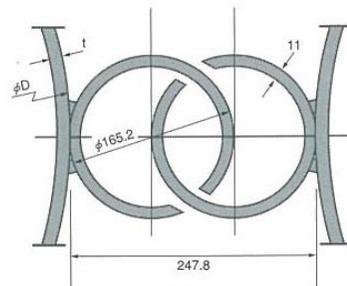
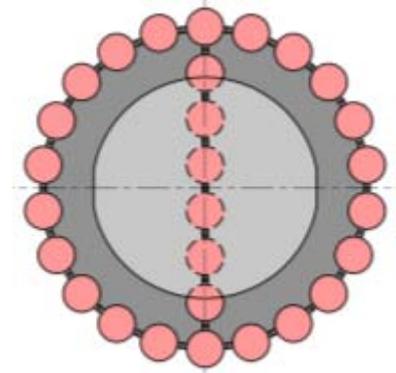
### ■検討事例：高強度鋼管および高耐力継手を用いた鋼管矢板井筒基礎の縮小化の検討



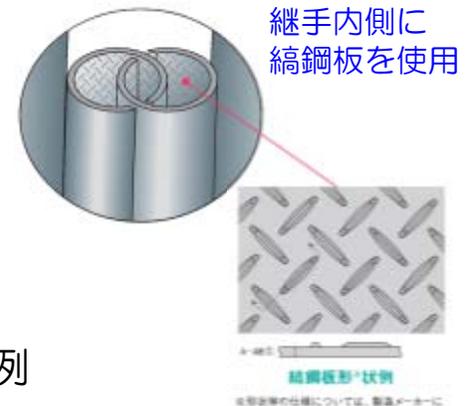
平面図  
一般材質の鋼管 + 一般的な継手



平面図  
高強度鋼管 + 高耐力継手



高耐力継手の例



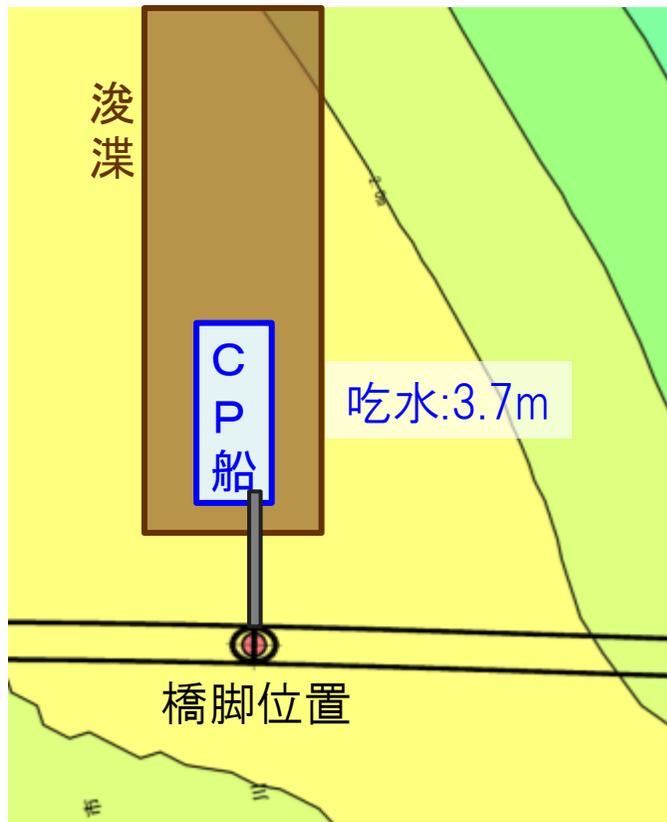
## ■3-2 吉野川渡河部の環境保全に配慮した構造及び施工



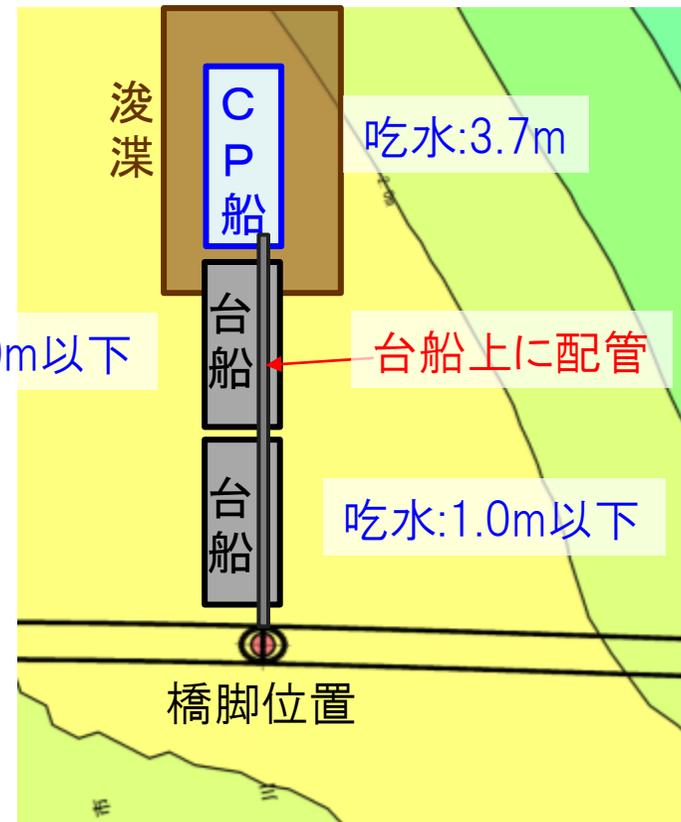
### ○基礎構造および橋脚施工時の検討

#### ■検討事例：浚渫量軽減化の検討

コンクリートの打設において、吃水（水面下深さ）の小さい台船を併用するなど浚渫量を軽減できる施工方法について検討する。



吃水:1.0m以下  
浚渫量の  
縮小化



## ■3-2 吉野川渡河部の環境保全に配慮した構造及び施工

### ○上部工施工時の検討

#### ■検討事例：架設桁による張出架設

上部工の架設は河川内を極力使用しない工法を検討する。

（資材搬入等は架設桁または仮橋等を利用して行う）

なお、本橋の規模（橋長、支間）での実績がないため、高度な技術検討が必要となる。

架設桁併用張出し架設（P & Z工法）



長良川橋(最大支間長111.0m)  
出典:P & Z協会HPより引用

架設桁架設（スパンバイスパン工法）



交野高架橋(最大支間長39.5m)  
出典:三信工業(株)HPより引用